

自然を愛し、親しみ、守り育てる奉仕活動

メイプル緑の少年団

たなかまこ
田中眞子
いしかわゆり
石川友里

1. はじめに

私達の六戸町立六戸小学校は、上北郡六戸町の中心である犬落瀬地区にあり、1,150世帯20町内からなっています。一年を通じて、雨の量は少ないのですが、気温の差が大きいと思います。

私達の学校は、現在、全校児童は295名です。校舎の西側には百周年を記念して、「百周年の森」があり、昼休みなどの時間には低学年の遊び場になっています。

メイプル緑の少年団は、昨年の長谷小学校・柳町小学校との統合を機会に、平成14年6月に結成され、5年生（2クラス49名）が加入しています。私たちの活動の目標は「自然を愛し、親しみ、守る育てる奉仕活動」を目指して、いろいろな活動をしてきました。

2. 一年間の主な活動

(1) 結団式・植樹祭・森林教室



〔体育館で行われたメイプル緑の少年団結団式〕

メイプル緑の少年団として、6月21日（金）に本校の体育館で、5年生（今後5年生が緑の少年団活動を担当する）が団服を着て、結団式を行いました。当日は、六戸町長や上北地方農林水産事務所長等、多くの方が参加して下さいました。

結団式では、六戸町長より団旗を授与され、記念樹として山紅葉の苗木をもらいました。最後に全員で緑の少年団の誓いの言葉を斉唱しました。



〔雨の中での記念植樹〕

当日はあいにくの雨でどしゃぶりでしたが、山紅葉の苗木（7本）を三八上北森林管理署の職員から説明を受けて六戸町総合運動公園に植樹しました。その後、本校の体育館において、森林教室を行いました。三八上北管理署の職員から森林の中の木の種類のことや年輪のことなど詳しい説明を聞くことができ、木や森林に対して少し興味がわいてきました。

(2) 小川原湖青年の家での宿泊学習



〔虫眼鏡を使って、小さな虫の観察〕

小川原湖青年の家で宿泊学習を行いました。さまざまな研修の中で緑に親しむ研修として、ネイチャーゲームを行いました。虫眼鏡を使って、小さな虫の動きを観察したり、自然の中にかくしている物を当てたりするゲームはとても楽しかった。

(3) 自然公園大会への参加



〔野外活動コース～十和田湖畔ネイチャーゲーム〕

十和田八幡平国立公園の十和田湖町において、第44回自然公園大会が開かれ、私達、49名と保護者10数名が参加しました。当日は、霧が深くあいにくの天気でしたが、式典、自然ふれあいプログラム（自然観察会、記念植樹）が開かれました。2日目は7つの野外活動コースに分かれ、さまざまな自然観察を行いました。（ウォークラリーでは、森林の中を歩いてとてもさわやかな気分になりました。）

(4) 水と緑の教室



〔三戸町貝守での枝打ち〕

水と緑の教室に21名が参加しました。この教室は「水と緑の大切さをわちあう」ことを目的として行われました。午前の枝打ちではしゃがんだ時の目の高さの

所から下を目安に枝を切ることを学びました。又、大きなサケにもふれました。私達の生活は自然があってこそ成り立っていることがわかりました。

(5) 森林教室・親子木工教室



[みんなでがんばった親子木工教室のベンチ作り]

体育館で、森林教室・親子木工教室を開きました。森林教室では、木の高さを図る用具を使って、体育館の高さを測定しました。親子木工教室では3人一組となって杉の材木を使ってベンチ作りを行いました。設計図を見ながら説明を受けましたが、うまくノコギリを使えなかったり、うまく釘が打てなくて曲がったりしてお母さんや講師の先生に手伝ってもらいながら2時間かけてやっと完成しました。とても大変だったけど、上手にできてよかったです。

3. おわりに

私達のメイプル緑の少年団の活動は始まったばかりです。今年を振り返ってみると、結団式・植樹祭・森林教室の開催、自然公園大会への参加、水と緑の教室、そして、親子木工教室等数多くの活動を行ってきました。このような活動ができたのは、上北農林水産事務所の方々や関係するの方々のご協力のおかげだと思います。

また、私達、49名のために快くお手伝い下さった父兄の方々にも、深く感謝します。

社会などの学習で、自然が破壊され、環境の保護をすることが必要なことを学びました。私達は、さまざまな活動に参加することによって、そのことを自分の目で見て、体験してきました。「こんなに自然が破壊されている。」「緑を守ることの大切さをわかってほしい。」等自分たちが経験したからわかってきた言葉です。その思いを大切にしたいと思います。今後は、この貴重な体験を総合的な学習の時間としてまとめ、自分たちが学んだことを他学年へも知らせていきたいと思っています。これからもいろんな活動にチャレンジしていきたいと思っています。